

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2372500856
事業所名	グループホーム 輪楽笑

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	町内会の一員として、盆踊り・お祭り・クリーン大作戦等に利用者と職員が参加している。 ホームでの流し素麺・バーベキュー大会等に、地域の小さい子どもたちが喜んで参加し、双方向の交流が成されている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	市役所担当者・地域包括支援センター職員・町内会代表・地区社協の職員・民生委員・ホーム関係者をメンバーとして、運営推進会議を年6回開いている。 ホームからの報告に留まらず、地区社協より『色々学べるので地域の防災訓練に参加しては』等の前向きな意見も出ている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	運営推進会議に市役所担当者・地域包括支援センターの職員が必ず出席し、ホームの状況は市役所窓口で理解されている。 日常的に解らない事や問題点は地域包括支援センターに相談し、適切なアドバイスを受けている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	家族は全員市内在住で、料金は現金払いのため来訪頻度も多い。 職員は面会時に日々の状況を説明し、意見・要望を聴き対応している。 利用者の要望は日常生活の言葉・職種から把握している。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	×	×	○	○	○	○	○				